

# 東溪中学校だより

第 4 号  
文責 校長

今年もあとわずか…

本校の2学期までの学校の経営・運営の状況をお知らせします。「子どもの活躍」は、引き続き「東溪中学校のあゆみ」でご紹介していますので、そちらをご覧くださいませ。そちらを閲覧いただければ幸甚でございます。（本校保護者、学校関係者等限定公開につき、パスワードで保護しています。）



## 2学期の東溪中学校の「経営・運営状況」等

【本校の学校の教育目標に係る評価】について（自己評価）

### 【学校の教育目標】

**主体性を発揮しよりよく生きようとする生徒の育成**  
中間達成度 **B<sup>+</sup>評価/A～D**

### ※学校の重点目標

- 学校の教育目標達成に向け、①「**言語能力**」の向上を基盤とし  
達成度 **B評価/A～D**  
②**主体性** を発揮できる生徒の育成  
達成度 **B評価/A～D**
- 物理的、心理的に安全・安心な学習環境の担保及び ③**組織的授業改善**  
の徹底  
達成度 **B<sup>+</sup>評価/A～D**
- ④**学び続ける教職員**としての意識の向上及び ⑤**小中連携を基盤**とした  
学校・家庭・地域の連携、協働の実働  
達成度 **B評価/A～D**

【目標①】 習得語彙を活用し、主体性を発揮し自分の考えを言語化し伝え合う力の育成 について

【目標①】  
習得語彙を活用し、主体性を発揮し自分の考えを言語化し  
伝え合う力の育成

R7 期末評価 成果 課題

【成果】( )内は達成率  
・自己調整力発揮し、家庭学習に取り組む生徒完全肯定率55%以上  
**56.2% (102.2%)**  
・単元テストの正答率8割以上生徒が40%以上  
**34.0% (85.0%)**  
・定期テスト「論理的に解答する」問題の平均正答率6割以上60%以上  
**47.6% (79.3%)**  
・主体性を発揮し自分の意見を伝える生徒の完全肯定率70%以上  
**50.0% (71.4%)**  
**総合達成率 (84.4%)**

期末達成指標

- ・自己調整力を発揮し、家庭学習に取り組む生徒の完全肯定率55%以上
- ・単元テストの正答率8割以上の生徒40%以上
- ・定期テスト「論理的に解答する」問題平均正答率6割以上の生徒60%以上
- ・授業等で「主体性を発揮し自分の意見を伝えることができる」生徒の完全肯定率70%以上

【次年度への成果・課題】

【成果】  
◇東溪SDLの浸透、質的向上（外発性⇒内発性へ）が一定程度推進されている  
◇発表の機会、精度が向上傾向

【課題】  
◇学年間の到達度の開きの是正（1年生への支援強化が必要）  
◇更なる授業改善に基づく「論理的解答」の機会の精度向上  
◇エビデンスに基づく個別の支援のあり方の追究

次年度重点取組

来年度へ：**真の自立した学習者**の追究が必要

**子どもの自己調整力へフォーカスする「東溪SDL」**

○「自律した学習者」の育成に向け、子どもの内発性は高まっている

△組織的とまでは言えない授業改善・・・大きなうねり・変化まではまだ到達していない

○「単元構想」の徹底 ← **「互見授業」が有効（再掲）**  
**研究主任のガバナンスが向上傾向**

○ 学校全体に担保されている「支持的風土」「高い協働性」を更に活用する

参考値（R7、9月）

・自己調整力発揮し、家庭学習に取り組む生徒完全肯定率 **53.5%**  
・単元テストの正答率8割以上生徒が30%以上 **36.6%**  
・定期テスト「論理的に解答する」問題の平均正答率6割以上50%以上 **52.2%**  
・主体性を発揮し自分の意見を伝える生徒の完全肯定率70%以上 **57.1%**

【目標②】 習得語彙を活用し、主体性を発揮し自分の考えを言語化し伝え合う力の育成 について

【目標②】  
多様な意見や考えを受け止め、建設的に発信し合意形成を  
図ろうとする力の育成

R7 期末評価 成果 課題

【成果】( )内は達成率  
参考値：※は肯定率  
・授業の主体的取組・充実  
**53.6% (107.2%)** ※**96.4%**  
・キャリア形成、学校生活の充実  
**39.3% (78.6%)** ※**85.7%**  
・よりよく学校生活を送る生徒  
**82.1% (164.2%)** ※**100%**  
・友だちや集団のために役に立てる生徒 **42.9% (85.8%)** ※**100%**  
**総合達成率 (109.0%)** ※**95.5%**

達成指標（期末継続）

- 以下について生徒の完全肯定率50%以上
- ・授業に主体的に取り組む充実できている生徒
  - ・キャリア形成を意識し学校生活を送る生徒
  - ・互いの意見を受け入れ、よりよく学校生活を送る意識を持つ生徒
  - ・友だちや集団のために役に立てている生徒

【成果と課題】

【成果】  
◇経年の取組による**高い協働性**の継続、発展  
◇**認知能力と非認知能力の往還**による人間性の涵養

【課題】  
◇「人の役に立つ」具体性が必要  
◇**内発性の高まり**に伴う合意形成を行う方法の精度向上  
◇更なるCSの効果的活用

次年度重点取組

◇授業改善の推進に**保護者、地域と一体化した体験学習実施**⇒効果↑

◇認知能力と非認知能力の往還が順調に進行しつつある

「人間性の涵養」にコミット！次年度へ！！

◇生徒はふり回り（帰りの会：毎日）が効果的  
これにより、以下を实践（3年生）

合意形成の具体的な方法

⇒中央委員会（執行部十学級正副委員長）で目的を提示

- ・各学級で**帰りの会**を利用、目的の発表
- ・協議事項を全体の場で発表・共有
- ・全校生徒へ周知⇒行事の実施 振り返り

※毎日行うことが大切：**積み上げ**

参考値（R7、9月）

完全肯定率  
○「授業で活躍できたり、充実したりしていると思うが」 **57.1%**  
○「自分の将来の夢や目標に向けて学校生活を送っているが」 **42.9%**  
○よりよく学校生活を送る生徒 **71.4%**  
○「友だちや集団のために役に立ちたいと思うが」 **42.9%**